

# 業務概要（特産品）

## 1 件名

平成 20 年度 地方の元気再生事業

「与那国特産品（どなんブランド）振興アクションプログラム策定業務および地方元気再生事業（特産品振興部門）活動報告書等取りまとめ業務」

## 2 業務の目的

本業務は、平成 20 年度、政府・地域活性化統合本部が募集を行った「平成 20 年度 地方の元気再生事業」に与那国町が申請し選定された「‘国境のまち’再生／与那国島の国境交流事業」の取組の一環である。

当該事業は、日本最西端の立地条件を、東アジアを結ぶ‘新しいフロントラインアイランド’として前向きに捉え、台湾から中国大陸、海のアジアの架け橋となる‘開かれた国境’としての島の活性化を目指し、「特産品振興」「新たな地域交通の確立」「観光振興」の 3 つの取組を行うものである。本業務は、上記取組のうちの「特産品振興」を主題とし、以下を目的に実施する。

本町は、平成 18 年度から二箇年にわたって『どなんブランド創出事業』（内閣府美ら島事業）に取り組んできた。同事業では、沖縄県随一の水揚げを誇るカジキの特産品化に向けた実践的取組を進め、小規模ながらも一定の成果とともに今後の課題・方向性を示すことができた。しかし、他の島内特産品（泡盛、黒糖、塩、長命草等）の戦略的ブランド化に取り組むまでには至っていない。

他方、目下、本町では、姉妹都市・花蓮市との国境交流プロジェクトを積極的に推進しており、本事業においても、台湾、中国大陸等を新たなターゲットとして視野に入れた特産品や観光振興の取組を促進していくこととしている。また、既に本年 6 月には、台北市で開催された「TAITRA\* フードフェスティバル」にも出展をしたところである。（TAITRA\*：台湾対外貿易発展協会）

かかる課題と状況をふまえ、本業務では、与那国特産品（どなんブランド）の国内市場での認知・販売の促進とイメージアップ、台湾市場での戦略的な特産品振興方策（PR・商標登録等）の検討など、島の活性化と地場産業の振興に資する『与那国特産品振興アクションプログラム』の策定と推進を主たる目的に業務を実施する。

### 3 業務内容

- 与那国島特産品の現状把握

与那国島にある特産品について、①既に特産品として製造・販売をしているもの、②現在、特産品化に向けて取り組んでいるもの、③将来的に特産品として需要が考えられるものなど、現状の把握を行う。

- TAITRA 出展事業者／来島観光客等の意見集約

6月に開催された「TAITRA フードフェスティバル」に与那国町から出展した事業者等からヒアリングを行うとともに、来島観光客等から見た与那国に対するイメージ等を把握する。

- 地域ブランドコンセプトの検討

上記「与那国島特産品の現状把握」、「TAITRA 出展事業者／来島観光客等の意見集約」等をふまえ、今後、与那国島特産品の販売・PR等を戦略的に促進していくことを主眼とする地域ブランド（どなんブランド）コンセプトを検討する。

- 特産品振興方策の検討

上記「地域ブランドコンセプトの検討」をふまえ、国内外での与那国島特産品の戦略的振興を主題としながら、まず、国内における販売促進と評価向上等のための課題・方策を検討する。

（特産品の品質・管理面の向上、安定供給等）

また、国内市場での点火～台湾への展開を念頭に、与那国島特産品の広報・PR等に関する実効的な推進方策を検討するとともに、昨今の中国・台湾等における商標登録問題もふまえ、台湾での商標登録に関する調査も行う。

- 『特産品振興アクションプログラム』の作成

‘いつ、誰が、何を行う必要があるか’など、現時点から将来に至る特産品振興のための短期・中長期の実行戦略を整理・総括し、『与那国特産品振興アクションプログラム』を作成する。